

(5)(食品衛生管理研修)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	25(49.0%)	24(32.0%)
2 役に立っている	24(47.1%)	39(52.0%)
3 どちらとも言えない	1(2.0%)	8(10.7%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	3(4.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	1(1.3%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

<p>①専門的な新しい知見が得られた。②他都市との連携が図りやすい。 食品製造施設の立入や消費者、食品関係従事者を対象とする講習会等で専門的知識の伝達に役立っている。 全国各自治体との連絡が容易になったと感じる。</p> <p>①最新の知識が得られる。②県では得られない情報が得られる。③研修を受けたものが食監のリーダー的存在になれる。</p> <p>①食品安全行政に積極的に取り組んでいる。②粗製海水塩化マグネシウムの規格基準改正に際しては、独自の視点から文献検索を行うなど、他の食品衛生監視員の範となる動きをしていた。 当該研修は日常業務では経験できない最新の知識や新たな課題等について学ぶ機会となるとともに、全国から集った同じ職種の間、異なる職種の公衆衛生従事者と知り合い、お互いの活動内容を知る事は、かけがえのない財産となり、研修を通して築き上げた人脈を今後の業務に大いに活用していくことができるため。</p> <p>新しい知識や情報や監視、指導業務に役立っている。 通常業務を行う上で、本研修で学んだことが生かされているから。 食品衛生における最新の知識や専門知識の習得が可能であり、研修で得たものを現場で発揮できる。また、後輩の教育にも研修で得た知識は役立てることができ、その情報を共有したり、伝達したりする事で監視員全体のスキルアップも図れる。 食品衛生全般にわたる知識の習得は日々の監視、相談業務に役立っている。 本研修を生かし、課の中心として活躍している。 受講後の伝達講習を実施する事により、本県の食品衛生監視員の資質の向上が図られた。 本研修で得た知識及び経験が日常業務に活用されている。また他の職員へも伝達され職場全体のレベルアップにつながっている。</p> <p>①営業施設監視技能の向上②他の職員への伝達講習 食品衛生監視業務において、貴院で学んだことを基礎に、業務を実施するとともに、若い職員に対して業務で必要とする知識、技術を指導する際に大いに役に立っています。 地方自治体の職員の業務について、理解を深めることができたとともに、現在行っている業務の重要度について理解できた。</p> <p>①他自治体との情報交換の場②最新の知識入手 他自治体の考え方、実施方法を参考に現場で運用している。 食品衛生に関する知識が全般的に深まり、食品衛生監視員としての能力向上に役立っている。他自治体の状況がわかり参考になるとともに、横のつながりができる良い機会となったようである。</p> <p>①食監全体研修会等において、最新情報を伝達している。②県が取り組む各プロジェクトメンバーとして主体となって活躍している。</p>

他府県の食品衛生監視員と知り合える事により、業務に必要な情報のやり取りが円滑にできるようになった。

本研修会で得た最新の知見・技術を食品衛生監視業務に大いに役立っている。また、講習会等を通じ、修得した知見等を多くの職員に還元している。

①最新の専門的な知識、技術を習得できるため。②全国の自治体職員と情報交換ができるため。

①他自治体とのネットワークの広がり②法令、専門研修、現場での研修を体系的に受講する事ができる場

研修内容が当課の業務内容と直結している。

専門的知識の習得により、中堅～指導的立場の者の育成ができる。

最新の知見や監視技術を習得できるとともに他の自治体の監視手法等について意見交換・情報収集が図れた。

最新の知識を得る事ができる。他自治体の職員と情報交換できる。

確実に担当者のレベルアップにつながっています。

他の自治体の状況について情報交換をする事により、視野が広がった。知識が豊富になったこと等から、様々な問題や相談に速やか、かつ的確に対応できるようになった。

通常本自治体のみで考え、方針を立て業務を行っているが、当研修により大変視野が広がり一つの業務を行うにも選択肢があり、より有効な結果が期待できる。

当局、食品衛生課での業務を行う上で、食品衛生管理に関する知識等を習得することにより受講者の能力を向上させ業務に役立つものと感じる。

食品衛生監視活動にあっては、日々の業務を通じて実務経験を重ねていくとともに、本訓練事業で実施している高度専門的な知識の吸収による研鑽が不可欠であるため。

専門職の資質向上等。

食品衛生管理についての最新の動向、技術等を当課の職員にも伝える事ができ、有意義である。

業務に密接に関連した研修であったため、内容がそのまま業務に反映された。

法律の根本となる知識等が得られた事、又、他機関の方達と交流を深める事で見識が広がったと思う。

①各部門のエキスパートの最新情報を勉強ができる貴重な機会である。②演習も多く、一事例に対する様々な考え方を知る事ができる。③二次的なことですが、全国の監視員との研修でネットワークが構築できる。

食品衛生管理コースは、食品衛生業務の指導的役割を担う職員の重要な研修と考えております。特に今回の研修生は食品衛生監視員11年目であり、専門的知識と最新技術の習得は、行政対応に非常に役立つものであり、大いに今後の活躍が期待されます。また、全国各地の食品衛生監視員との交流は、業務遂行に非常に役立つものと思われまます。

本人の専門的知識等を養い、また受講した内容を研修会にて監視員にフィードバックし、後輩等の指導育成に役立っている。

個人の資質向上

実務のレベルアップも見られたが、さらに各県等の方との交流範囲が広がっているようであり、この点でも有意義であった。

①伝達研修を実施しており、最新の情報を他の職員に提供できている②他自治体の職員とのネットワーク作りに役立っている。

研修生が受講後、意欲的になり、又、自信をもって業務に取り組む姿勢が見られるようになった。

最新の情報をもとに又、より専門的知識の研鑽ができ、現場業務で活かしている。

受講者は現在、それぞれの現場において、特別課程で得た知識を存分に発揮し、活躍している。

食品衛生監視員としてのレベル向上が認められる。

食品衛生業務を行う上で、体系的な知識の整理ができた。

①新しい情報が入手できた事②国・他県市の考え方や意見を聞く事ができたこと③受講者間でも意見交換ができたこと

①国(厚生労働省)の食品衛生行政に対する大まかな方向性を知る事ができたこと②他の自治体職員と研修した事により、情報交換ができるようになったこと。

①広い視野で公衆衛生を考える必要性を感じた(コーデックスの件、試験方法について)②他自治体の人との交流により、情報を得やすくなった③良い復習にもなった

専門知識を増やせた事で、講習やリスクコミュニケーションの方法に目通しがついた。ただ理論と実践では開きがあり、困難が多い。

①研修テキストやノートを見ることで、知識の整理ができる②講師や研修生徒のネットワークを通じて、参考意見がいつでももらえる。

実務の参考として役立っている。例えば、アリンバイオトキシンの発生機序:アレルギー表示・食品工場の見学

まず何よりも食品衛生に対する視野が広がった事です。これは新規事業や日々の仕事で直面する新たな課題などに対する考え方や、その基になる情報収集の仕方に活かされていると思います。

食品衛生行政について、体系的に修得できた点。

営業者に対する指導助言において役立っている。(施設立入時及び窓口での指導・助言)

研修中グループ討議した内容を実際に監視指導へ活かすことができた。また、他の都道府県市の研修生の方々と交流が深まるとともに、各自治体の実情等を情報交換することができ、業務の参考とすることができた。

他の自治体の状況がわかり参考になった。また、他自治体への連絡等がしやすくなった。国の現在、取り組んでいる業務等も多少見聞きする事ができた。

本研修で食品衛生行政の流れを理解する事ができたから。

講習で新しい食品の検査方法を学び、従来に比べ検査項目を増やす事ができた。

監視指導を実施する上で、他自治体の方法や、最新の情報を使い業者指導に説得力が生まれてきた。

現在の業務の主担当の内容ではなく副担当とする業務の研修内容ではあるが、基本を修得したため、業務等への説明、指導等に役立っている。また必要な情報の収集の仕方がスムーズにできるようになった。

業務上疑問に思っていた点について、深く研修できたため。各自治体の受講者とのコネクションが役に立っている(情報交換等)。

食品表示について。

①食品安全行政については、最近の動向を理解し、農薬や輸入検疫などの現状を学び、リスクコミュニケーションにおけるクロスロードゲームは、当所の衛生教育でも活用させていただきました。②製造所を持つ、食品衛生監視員という立場では、より多くの現場を踏む事は非常に重要であり、施設の臨検はとて有意義なものであると思います。③課題研究については、テーマの絞込みに時間を要した。テーマがはっきりしている方がより具体的に取り組みやすかったと思う。

①他自治体とのネットワークの広がり。②法令から始まり専門研修、グループワーク、現地研修等を一連で受講することでスキルアップに役立った。

出先の地方事務所で勤務していると、業務に直接関連のない事柄はまるで他人事のように(国の中央の動き、最新の話題など)研修でその一端に触れる事ができ、関心を持てるようになったと思います。せっかく研修を受けたのですが、本年4月より食品衛生の仕事から離れましたので、残念です。学んだ具体的な内容については役に立てにくいですが、物事のコネクションなどはどの職種でも活かせると思います。

業者や消費者への対応がより科学的根拠に基づくものになった。

課題研究で取り組んだ内容を基にして、啓発資料の作成や業者への指導に役立っている。

保健所での業務や講習会等に活用させていただいています。

①講義内容や資料②人とのつながり

業務の上での科学的根拠として役立っている。

①全国の食品衛生監視員とネットワークを構築することができた。②ネットワークにより、情報の伝達や収集が速やかに行える。③食品衛生行政を鳥瞰することが可能となった。

情報の共有化・食品関連他部局との連携・継続性のある監視指導等の重要性を学んだこと、他の自治体の監視員とのネットワークができたこと。食品専門監視班における、通常監視・輸入食品等への緊急対応・先行調査や独自収去業務の企画等に大変役立っている。

一つ一つの事例に対し、知識を吸収して自分の考えを持ってから、対処しようと業務を行っている。

仕事の意味を所属する自治体だけではなく、食品行政の流れから理解するようになった。

他の研修生(自治体や国)との連携が生まれた。また、今までの業務に対し、違った角度から検証することができたことが、多少視野が広くもてるようになった気がします。

監視指導演習で得た経験。講義で得た知識。

①現在の業務について、全体の食品行政の中の位置づけを深く理解できた。②地方自治体の方との交流を深め、業務の理解をする事ができた③現在の食品衛生、HACCPの考え方を理解する事ができた。

厚労省の考え方がよくわかった。また他自治体職員との交流もとても有意義であった。

①知識が増えた為、仕事が早くスムーズになった。②後輩の指導がしやすくなった。

一つ一つの専門的な知識をより深く吸収できたので苦情者への説明、食品等事業者や調理従事者への講習会の時など今までより根拠をもって話しができるようになった。

他自治体の実態、考え方が顕著にわかり、今後の業務に反映できる。

業務上で判断が必要な場合における問題点を整理する能力の向上。

①最新の情報が多く入手できた点。②全国の食監とのネットワークが構築できた点。

他自治体との交流、その後相談・質問等がしやすくなった。

①リスクミ・クレーム処理等の対人折衝の能力。②今問題になっている「カビ毒」に関する知識。

①グループワークで導き出した答えを実際の業務でわずかではあるが役立てた事。②研修生同士の強いつながりができたことにより、他自治体の本音の意見を聞けるようになったこと。

①専門分野の講義は知識の幅を広げ、実際の業務に活用する事ができる。②他機関との情報交換ができ、最新の情報や取り扱いを知る事ができた。

講義内容は第一線で業務を行われている先生方から最新の情報を聞くことができ、貴重な内容でした。特に現在自分が所属している部署がこれらに深く関わっているところなので勉強になったと思っています。

①グループ討議研修の際、テーマに対しての他の自治体の考え方が大変参考になったこと。②講義の内容も最新の情報で行政に役立っている。

県内の状況だけでなく、他県の状況に関してまでアンテナを高くするようになった。

①自分が今の仕事をするためのモチベーションが上がった。②全国の同じ仕事をしている方々の話しや(現状、悩み)接点が多かったこと。②カビ毒をはじめとして普段あまり聞く事のできない話が聞けた事。

専門家の講師による最新情報やものの考え方を理解できた。他自治体の人との情報、意見交換の手段を得た。

食品衛生に関する様々な題材についての過去からの経緯や最新の知見を学ぶことにより、自分の頭の中での考えがまとまり、広い視野で物事を考える事ができるようになってきたこと。

①問題点の抽出、改善方法の検討の際に研修前とは明らかにアプローチ方法が異なっている。②消費者の視点を意識して業務を行うようになった。②最先端の食品衛生にかかる状況を学ぶ機会を得たことで自信につながった。

研修後2ヶ月で異動になり、保健衛生(食品衛生)ではない部署に配属となり、現在の職務遂行という意味では役に立っていないが、問題を解決するプロセスの考え方という点では本研修が役に立ったのかもしれない。

事業者や消費者への対応の際、知識が役立っている。

①保健所への助言をする際、考え方が役に立っている。②他の自治体の職員とネットワークが広がり、相談等がしやすくなった。③演習で作成した資料を利用できた。

他自治体職員との迅速な情報交換が可能となった。

常に食品衛生分野における最新の情報・動向等を収集し、業務内容を検討するようになった。

論理的な監視指導のポイント等。

特に最新の情報をいただいた「アレルギー物質について」「ノロウイルスについて」は、実際に話す衛生講習会の資料として役立っています。(担当者同士意見交換しました)。

①研修では考え方について学ぶ事ができた事から、全てについて役立っている②また研修で全国の同業者(食監)と知り合えたネットワークにより様々な情報を入手でき、業務に生かしていること。

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

転勤により食品監視の現場から離れてしまったため。
現在、動物管理業務に従事している為。
業務内容が変わってしまったから。

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

配置換え

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回 答	派遣元
1 ぜひ派遣したい	32(62.7%)
2 派遣したい	19(37.3%)
3 どちらとも言えない	0(0.0%)
4 派遣したくない	0(0.0%)
5 絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

1か月程度の研修という事で、職場にとっても本人にとっても負担となるが、必要だと思えます。
他の自治体職員とともに演習等を行い、お互いの共通点・相違点を認めることにより、様々な事例に対応する能力が身につくと思われま。

今後も継続して派遣していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

貴院の研修は、本市の食品衛生監視員のスキルアップのための重要な研修であると考えている事から、今後も職員を派遣していきたい。

臨地訓練(実地見学)の負担金の領収書(担当教官名でも可)を発行していただくようご配慮お願ひします。

現地研修の充実

今後も食品衛生関係の研修を継続、充実していただきたい。

今後も研修の継続を希望します。専門家から貴重な講義を受ける機会を与えていただきたい。

今後も最新の知見を取り入れて現場に役立つ研修にしていきたい。

実地研修の機会を増やしてほしい。

もっと沢山の監視員が参加できるようにテーマ別に短期間の研修を多く実施していただきたい。

1ヶ月以上の長期研修費の予算化が難しくなっているため、2週間程度の短期研修メニューを増やして欲しい。

実地見学の場所が早くわかるとありがたいです。

宿泊を伴う研修の場合、予算上での運用が異なる為事務処理が複雑になります。研修中での予定変更はできる限り避けていただき、研修前に宿泊の有無を決定して下さい。

今後も最新の動向に即した研修を実施していただきたい。

今後も高度かつ専門的な教育訓練事業を継続され、業務に直接反映できるようなカリキュラム等の検討をお願いしたい。

今後とも、専門職の人材育成の観点から各種研修に派遣したいと考えています。
 特になし。今後ともよろしくお願ひします。
 専門的知識かつ最新の情報を習得できるので、今後も続けていただきたい。
 さらに研修のカリキュラムを見直してより有意義な内容を目指してもらいたい。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	29(38.7%)
2 勧めたい	42(56.0%)
3 どちらとも言えない	4(5.3%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

他自治体との交流が深められ、非常に有意義な研修であります。
 内容・量とも現場より厳しい研修を実施すべきです。
 国の行政担当者、研究者の方々から貴重な話をうかがう機会であり、全国の食監と様々な意見を交わすことができ、自らの仕事を見つめ直し、モチベーションを高められた、有意義な研修だった。
 カリキュラムの設定は大変だと思われませんが、座学より実地を増やして頂けるとより、実践的だと思います。
 国の第一線で活躍なさっている方のお話を聞いた事は大変良かったです。又、受講者によるグループ研究も、結果のみならず、その過程も役立ったと思っています。
 連絡事項:異動により職場が以下の通り変更しておりますので、お知らせします。〒380-0944長野市安茂里米村1978長野県環境保全研究所保健推進部
 ①日常業務の疑問点についてもう少し討議したかった②各自治体PRを毎日3人位づつ、聞いてみたかった(食品衛生の取り込みや問題点)。
 E-learningによる研修期間短縮も一案ではあるが、研修期間を共に過ごしたからこそできる信頼も大切だと思う。
 今後は消費者行政(消費者庁の創設?)からの視点も入ってくると思いますので、さらなる研修の充実を図ってください。よろしくお願ひします。
 研修の目的、カリキュラム、講師等が合致していないのではないかと。全般的に机上の空論と化している印象がある。
 日程・プログラム等の流れについて、より履修し易い順序等でお願ひしたい。(日数・順番などについて)食品監視部門の様々な職種が集まる研修であったので見識を広げるのによい研修であった。
 講義の内容が現場で役立てることができないものもあったので集中して聴くことが難しい。
 時期は現在の1~2月が一番職場をあけやすく、参加しやすかった。図書館のパソコンを利用できたが、参加者は個人のパソコンを持ってきた方が便利であると参加して思った。
 禁煙場所は確保して欲しい。
 談話室(寮)が午後9時までしか飲食できないのはちょっと厳しいかも。
 毎日の研修開始時間が遅めなので、課題が多くても対応がしやすかった。研究課題の時間が多めなのが良い。自主的な業務をする意欲が開発されたと思う。
 座学と演習の配分はとても良かったです。今後、可能であれば、研修生全体を組み込んでの討論時間が多くなれば良いと思います(各地域の手法、考え方をもっと知りたい事から)。

宿泊施設の利用方法や施設が充実しており、役に立った。
食品衛生の全般について学べるので、ぜひ継続して開催してほしい。
寄宿舍での生活は、他自治体の実状も聞け、抱える問題も共有する事ができ、とても有意義であった。
既成の枠を超えて、柔軟な発想ができる時間になりました。
時代にあった研修内容を検討していただきたい。
大変勉強になりました。ありがとうございました。
知識の取得はもちろんの事、業務を行う上でのプロセス等について学ぶことができる大変良い機会でした。又、他の都道府県の食監の方との横のつながりができ、業務上役に立っております。
講義とチームディスカッションをバランスよく行うカリキュラムにすべし。(前半は全てチームディスカッション、後半は全て講義というのは中だるみしてしまうおそれあり)
時間的に半分くらいのコースがあればいいと考えます。
課題研究等、グループで討議してまとめていく方法は特に勉強になりました。また研修で人脈も広がりました。
年々、自治体の予算は厳しさを増し、研修への参加枠も削減や廃止が予想されます。数日～2週間程度の研修を更に充実させてはいかがでしょうか？
都心部にあってほしかった(通学が大変であった)。
とても有意義な研修だったので今後もこのコースは続けて欲しいです。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。
実地研修を増やしていただきたい。
もっと多くの人に参加できるようにになると良いと思う。
グループワーク、研修生同士のつながりが大切だと思いました。
研修全体で全国に知り合いが増えた事も(本研修とは直接関係ないことですが)大きな財産です。
今度とも最新の情報及び行政としてのあり方を伝えて欲しい。
現場研修にもう少し時間をかけていただきたい。
担当業務が変わってしまったので、直接研修で知りえた知識を活用する事はありませんが、法律に対する考え方や業務を遂行する上での処理方法等に対する考え方が変わったように思います。何より全国規模で職員同士が交流できる良い機会だと思いました。ありがとうございました。
食品関係の研修を増やしてほしい。
現場で役立つような実地演習を増やしたり、講義については1コマの時間が短いので、講師の都合などもあるのだろうが、1つの講義について1日単位ぐらいでより深く学べた方が良かったのではないのでしょうか。(研修生が選択できるなどで)
事業者や消費者の方を外部講師として招いて欲しい。
実地研修を増やした方がよいのではないか。
多くの自治体、国の職員と情報交換ができ、有益な機会であると思います。
地方分権が推進されている過程から、保健所を設置する自治体が組合化されている。各自治体における、食中毒等の調査能力に差異が生じていると感ぜられる時がある。これからは、訴訟を視野に入れた調査・処分が必要である事から貴院の研修において疫学調査手法の向上を目的としたものを充実させていただきたい。
1ヵ月等期間について、長距離を通う者としては大変辛かったのですが、自治体同士の連携がとれましたので、以後の付き合いが大変スムーズになります。1、2日の研修ではとれない輪があるので良かったです。
グループワークの際、目的・理由等がつかめず苦労しましたが、全般的に見て非常に充実していました。国益向上に貢献して下さい。

研修主任の総括的コメント

最新の情報の入手及び都道府県間の横の連携の構築のために必要で、今後も参加させたいという前向きなコメントが多かった。

個別質問

(食品衛生管理研修)フォローアップ調査

質問1. 本研修を受講した後に、本研修で学んだことを同僚に説明する機会がありましたか？

(a) はい	54(87.1%)
(b) いいえ	5(8.1%)
(c) どちらともいえない	3(4.8%)

質問2. 本研修を受講した後に、業務の計画や手順の策定に携わる機会がありましたか？

(a) はい	29(46.8%)
(b) いいえ	28(45.2%)
(c) どちらともいえない	5(8.1%)

質問3. 本研修を受講した結果、業務上の日常の課題に対して、法令の規定を理解した上で科学的に筋道をつけて考えていけるようになりましたか？

(a) はい	48(77.4%)
(b) いいえ	0(0.0%)
(c) どちらともいえない	13(21.0%)

質問4. 本研修を受講したことを、医療機関や同僚などからの相談への対応に生かす機会がありましたか？

(a) はい	56(90.3%)
(b) いいえ	4(6.5%)
(c) どちらともいえない	2(3.2%)

質問5. 職場の業務で、本コースを受けた間接的効果を実感することは有りましたか？

(a) はい	58(93.5%)
(b) いいえ	0(0.0%)
(c) どちらともいえない	4(6.5%)

質問6-1 本コースを受講して、ご自身のキャリア・アップに役立ちましたか？

(a) はい	11(17.7%)
(b) いいえ	35(56.5%)
(c) どちらともいえない	16(25.8%)

(a) とお答えの方は、次の質問にもお答え下さい

質問6-2 どの様な面でキャリア・アップに繋がりました？ (複数回答可)

(イ)特別昇給	0(0.0%)
(ロ)役職	3(4.8%)
(ハ)転職	0(0.0%)

研修主任の評価、分析、コメント

法令の規定を理解した上で科学的に筋道をつけて考えていけるようになった比率(77%)をより向上させていきたい(目標90%)。一方、職場の業務で、本コースを受けた間接的效果を認めた比率が非常に高い(93.5%)ことは評価でき、今後も維持していきたい。